

4-6

子供にとっての「携帯電話」をどう考えますか？

お子さんに携帯電話を持たせていますか？それともこれから持たせようと考えていますか？携帯電話を子供に持たせるかどうかについては、まずは保護者がその利便性や危険性について理解した上で、必要性を判断することが大切です。もし、携帯電話を持たせる場合には、家庭で携帯電話利用に関するルールづくりを行う必要があります。学校や家庭において、子供も大人も携帯電話をめぐる問題を正しく理解し、トラブルから身を守る方法について考えてみましょう。

エピソード

子供が小学校3年生になりました。小学校1年生からスイミングとピアノを習っています。低学年の頃は、送り迎えをしていましたが、仲良しの友達もでき、友達と一緒に自転車で行くと言い出しました。家からも近いので、自立させる意味でも自分の力で通わせたいのですが、途中で何かあると心配になります。そこで、携帯電話を持たせようかと考えているのですが……。

携帯電話は、連絡をとるだけでなく、防犯機能や子供の居場所がわかる機能等もついています。「子供を守る」意味で持たせたい気持ちがある反面、使い方によっては、危険性もあるのでどうしようか迷っています。

ワーク 1

エピソードを読んで、あなたならどうしますか。



ワーク
2

携帯電話のよい点と問題点についてグループで話し合ってみましょう。

よ い 点	問 題 点
	

ワーク
3

お子さんに携帯電話を持たせるとしたら、どんなルールが必要だと思いますか？

お子さんに携帯電話を渡す前に ★我が家のオリジナルルール★



資料2

我が家のオリジナルのルールを作ってみよう

ひととおりチェックしてみましょう

**1. どんな時に使う
時間がか心配**

(例)

- 食事中は使わない
- お風呂に持ち込まない
- 夜____時をすぎたら利用しない
- 利用は1日____分まで
- 家ではリビングで使う
- 充電器はリビングにおく

**2. なんのために使う
やりとりがか心配**

(例)

- 自分の個人情報を書かない
- 窓口を書き込まない
- 迷惑メールに返信しない
- チェーンメールを転送しない
- 知らない人からメールがきたら保護者に報告する

**3. 使うための約束
料金が心配**

(例)

- 明確で料金を確認する
- 料金が____円を超えた分はあこづかいで払う
- 料金が____円を超えた翌月はケータイを使用しない
- 着メロ、音楽、ゲーム等は勝手に会員登録やダウンロードをしない

その他のルール

(例) 連絡専用やパスワードを勝手に設定(変更)しない

イエローカード (1回守れなかったら)

レッドカード (2回守れなかったら)

※子どもに読んでもらうルールで、子ども自身が書いてもらうようにしましょう。(例)「1日10分以内」(例)「ケータイの充電器をリビングに置く」

年 月 日 _____ 子どもの名前 _____ 保護者のサイン _____

文部科学省教育政策課 制作：家庭科インテラーネット協会 2010年3月

保護者の皆さまへ お子さまと一緒に
お読みください

2010年3月

ちょっとまって！ はじめての ケータイ

文部科学省「子ども安全安心全国推進協議会」
文部科学省「家庭科インテラーネット協会」

スタート...
どんな種類のケータイもOK

まだ、ケータイを買わなくても充分

でもね... ケータイの機能を選ぶだけでは安心ではありません

悩みもいろいろです

子どもの悩み

- 知らない人に、自分のメールアドレスが他人に知られてしまった。(11才男子)
- 古いサイトで自分の情報を見たら、迷惑メールが届くようになった。(12才女子)
- 友達からメールが来て友達になかったら、学校、学校で口をきいてくれなかった。(12才女子)
- 掲示板で名前を登録したら、自分の住所や名前を3日以内に知られるという連絡が来た。(14才男子)
- メル友専用サイトで知り合った人が、自分の住所と住所を調べる人だった。(14才女子)
- 掲示板に自分のメールアドレスや写真が載せられていた。(16才女子)

親の悩み

- ゲームに夢中になって、何を言ってもやめようとしぬい。(9才男子の父親)
- ひんぱんに着メロをダウンロードしている。料金が溜まっていたり迷惑メール。(11才女子の父親)
- せっかくパスワードを登録したのに、逆にメールが届かなくなつた。(13才男子の母親)
- 誰かケータイで連絡やメールをしているのかわからぬ。(11才男子の母親)
- フィルタリングをかけたのに、子どもははずしてほしいと聞かれた。(14才女子の母親)
- 机の上の中で、ケータイをビニール袋に入れて迷惑を持っている。(14才女子の父親)

つまり... ケータイをボンと渡すのではダメなの

子どもにケータイを渡す前に
親子で話してみましょう

ケータイは子どもを夢中にさせてしまう楽しい機能がいろいろあります。でも、有害サイトや悪意のある人とつながる危険があります。安全・安心に使うためにも子どもと話し合ってみてください。そして、ケータイを使う必要性と責任を子ども自身に自覚させるために、親子でルールを決めておくようにしましょう。

そこで!
我が家のオリジナルのルールを作ってみよう

相談窓

相談窓口でもかからないとがなかったら、迷惑メールの届く回数に注意しましょう。

- NFTTポータル 0120-800-000
- ソフトバンク 0888-21-2000
- KDDI au 0077-3111
- ワイモバイル 0120-921-156
- イーモバイル 0120-739-157

トラブルの相談窓口を知っていますか?

- 警察相談ダイヤル 110
- 総務省消費者生活のダイヤル(近畿府民専用) 0120-777777

※保護者向け情報 (家庭科インテラーネット協会)
http://www.i-net.or.jp/kids/faq.html
フィルタリング情報、インターネットのルールとマナー集、迷惑メールの対策など

文部科学省「ちょっとまって！はじめてのケータイ」リーフレット (平成22年)

